

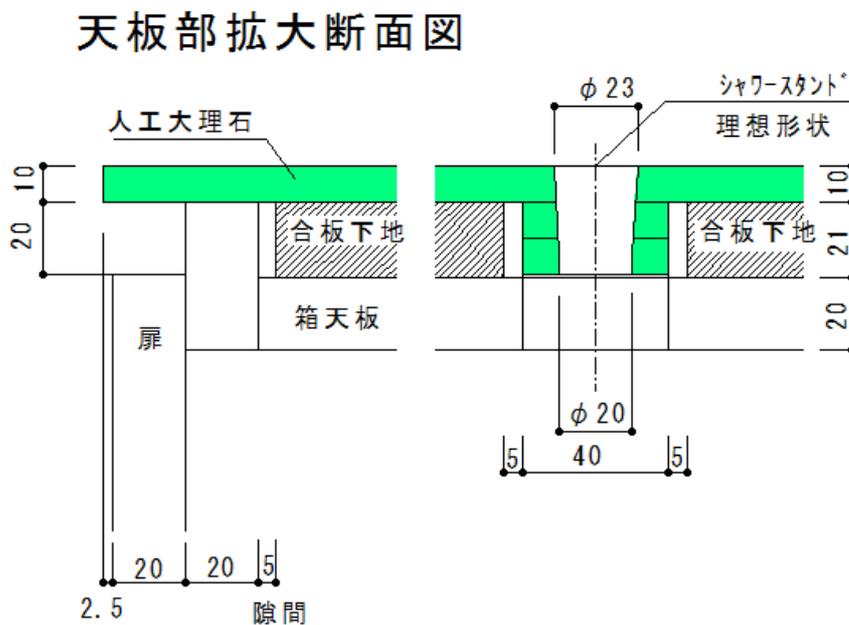
シャワーヘッドが人工大理石の天板にセットされた洗面台の製作について

今回の依頼は棒状シャワーヘッドが人工大理石天板に立って配置できる構造を要望されました。この棒状シャワーヘッドの天板への差込みセットは 2 回目ですが、シャワーヘッドメーカーの違いで形状が異なり、前回の方式では、困難でサンプルモデルを製作し、検証することになりました。



前回のシャワーヘッドスタンド状況です。
前回はシャワーヘッドの根元が直径に段差が有り、その段差を利用して人工大理石で受けていました。

下図は前回の天板受けの断面図です。



シャワーヘッドのスタンドセットの対応策

シャワーヘッド受け取り付け用板です。板厚で天板穴と受け位置を合わせています。

カクダイのシャワーヘッド受けです。前側にマジックテープにてホースがガイドから外れないように抑えています。ガイドからホースが外れるとシャワーヘッドをセットした時、シャフトに傾きを生じます。



ホースを取り出し、戻す際にスムーズな動きができるように取り付けたガイドです。これによりホースの受け箱への出し入れが、良くなりました。ちなみにこのガイドはエアコンのホース固定バンドです。

ホース受け、ホースを伝わる水の受け皿（箱）は樹脂製のスマートなダストボックスです。

以上によりシャワーヘッドのスタンドセットは対応出来ました。



両サイドは引き出しで、ウォールナット板目突板の綺麗な杢目が通っています。
洗面台は壁固定の他に引き出し内部中央よりでブラケット左右の2本で受けています。



シャワーヘッドのスタンド状況です。スッキリと納まっていますが、ここまでには様々な検討事項がありました。



今回の人工大理石の前垂れが 120mm あり、ボウル一体型の天板に重みを感じ、天板上も、足元もスッキリしたスマートな洗面台となりました。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成 24 年 9 月 24 日